

令和6年度（2024年度）

CKD（慢性腎臓病）病診連携プロジェクト会議 議事録

1 日時

令和6年8月5日（月）19：00～21：00

2 開催場所

本庁舎 10階会議室

3 出席者（五十音順・敬称略）

緒方一朗（熊本市医師会 緒方消化器内科）
梶原健吾（国立病院機構熊本医療センター腎臓内科）
栞原孝成（熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学分野）
戸高幹夫（とだか内科クリニック）
豊田麻里子（熊本赤十字病院腎臓内科）
野村和史（熊本中央病院腎臓科）
早田学（済生会熊本病院腎臓科）
宮里賢和（熊本大学病院腎臓内科）
宮中敬（熊本市民病院腎臓内科）

事務局：健康づくり推進課

4 配布資料

第1回 会議資料1～3

5 次第

- (1) 挨拶（石元健康福祉部長）
- (2) 議事
 - ①熊本市 CKD 対策のデータ・取組状況
 - ②令和6年度 CKD 対策推進会議について
 - ③かかりつけ医説明会について
 - ④その他（情報提供）

6 議事

事務局	議事①熊本市 CKD 対策のデータ・取組状況について説明（資料1）
委員	全国の傾向と比較したいところ。 （※日本透析学会の令和5年のデータは令和6年12月に発表される見通し。） 対策の効果について、熊本市の規模だと3～4年の平均をとっていくと傾向が見えてくる。

委員	新規透析導入が減っている実感はなかったが、糖尿病の新薬が流通し、効果が出ている実感はある。
委員	若い人の糖尿病の多さについては実感がある。昔は、若い人で腎臓が悪くなる原因は基本的に「腎炎」だった。現在腎炎はほぼコントロールできるようになった。 20代 30代の糖尿病患者により関わっていかないと、あっという間に末期腎不全になってしまい40代 50代で透析導入となる。
委員	若年で透析導入する方は、BMIが高い印象がある。そこの取りこぼしが課題。 また、新薬の薬価が高いため、生活層を考慮すると補助があればと思う。
委員	CKD 対策について、一番良い時でも年齢調整すると全国に追い付いたところ。それでも対策の開始当初よりは効果は出ている。
委員	熊本市で取り組んで来た効果が、十数年経って出てきている可能性がある。
委員	これまでは、医療経済的に言えば透析導入を遅らせるだけで透析期間が短くなり、効果はあるということだったが、対策の結果本当に透析にならない人が出てくる。その効果が、対策開始から何年後に出てくるか、というのが、熊本市が十数年必要だったとすれば、他都市でも同じくらいの年数で同様の効果が現れてくるのなら、対策の効果が本当にある、ということが言えるのではないか。
委員	様々な取り組みをしている他の自治体の数字と比較するとよいのでは。 対策の効果を検証してみて、熊本市が数字がよくなっているのであれば、熊本市のCKD対策が効いている、ということになるのでは。
委員	糖尿病に関しては、HbA1cに限っては、年々下がってきている。 新薬がどんどん出てきていることもあり、糖尿病の合併症も減ってきている。 薬品の効果がどれくらい出てくるのかの研究もあり、解析が進んでいる。
委員	薬剤の効果も出てきているため、70歳代・80歳代が大きく減少しているというのは考えられる。実際に悪化している方に比較的積極的に使われ始めているので、それが大きな差になってきているのかもしれない。 若年層については、経済的な問題やリテラシーの問題があり、できるだけ早期に治療を開始するのがよいが、健診受診率の低さが課題。受診率が高いところと透析導入率を比較してみてもは。
委員	早期に治療につながるほど、結果は大きく違う。どれだけ早期に介入できるかが大切。

委員	<p>治療中断者が課題。</p> <p>40代・50代の男性で多忙を理由に治療断する人がいるので会社等へのアプローチするのも有効では。</p> <p>60～80代の中断者については、医療にかかっている人はまだ良いが、全く治療しておらず突然悪くなって脳卒中・心筋梗塞をおこす未治療者が課題。今の労働人口の中で、（健診受診率の低い）国保加入者はもちろんだが、社会保険加入者も、過重労働を含めて問題がある。</p>
委員	<p>ポピュレーションアプローチが重要な部分もあるが、健診を受けた後の一人ひとりのフォローも大切。</p> <p>市が行うポピュレーションアプローチと、社会保険と連携を取ること、そして我々（医師）が何をすべきなのかを色分けして考えていくことが必要。</p>
委員	<p>社保と国保はどちらのデータが悪い？</p>
事務局	<p>本日資料の用意がなく、後日追加資料を提供させていただく。</p>
委員	<p>会社で健診を実施しているが、個人情報の問題があり、受診勧奨1回のみでそれ以上は立ち入れないという問題がある。産業医がいるところは良いが、小さなところでは次の介入ができず健康管理が難しい。</p>
事務局	<p>大手企業などは健康管理体制ができているが、小さいところでは難しい。仕事が多忙で、保健指導に行く余裕がない等も聞かれる。</p>
委員	<p>衛生管理者へのアプローチが効果的かもしれない。研修など企画して協働でやってみてはどうか。</p>
委員	<p>CKD患者が、「成人8人に1人」から「5人に1人」に増加した件。今年の腎臓学会で発表になり、CKD診療ガイド2024にも明記されている。</p>
委員	<p>病診連携医の減少について、昨年は、新規登録数は増えているが離脱数が大きく、減少しているとの説明があった。純粋に登録数が減っているのか？</p>
事務局	<p>CKD病診連携登録医を更新をしない先生が増えている。コロナの影響もあり更新期間を2年から3年に延ばし、昨年の本会議で議論頂いた結果、更新のために必要なかかりつけ医説明会を2回×2ヶ所で開催したが、減少した。今年度の同説明会のあり方についてもご意見いただきたい。</p>

委員	更新の手続きが煩雑なのか？
事務局	かかりつけ医説明会の際に更新用の書類を記入していただく。
委員	登録していなくても、ちゃんと連携している先生方も多いのではないかと。 連携医にならなくてもこのシステムが当たり前になっていけば良い。
委員	（登録医へ配布している）資材等は内部で見えて活用しているが、患者向けとなると活用が難しい。手間が掛かると嫌がる方もいるし、収入に繋がるなら反応されると思う。 指導料改定で病院の外来収入は少しずつ減っている。糖尿病性腎症には指導料がつくが、チーム医療での対応が必要、ある程度のレベルがあればとることが出来る。 しかし患者さん側からすると、これまで払わなくて良かった費用の負担が増えるので、治療途中の患者さんには負担。
委員	3人体制（医師、看護師、栄養士）で見ないといけないので非常に難しい。
委員	CKD 対策事業に一生懸命協力していただいている医療機関が見えるようなインセンティブがあるとよいかもかもしれない。
事務局	頂いたご意見を参考に検討してまいりたい。
委員	FAX での連携医への紹介実績数は。
事務局	報告医療機関の数は増えていないが、報告数は 1.5 倍程度に増加した。 専門医への紹介は行っているが、熊本市への FAX 報告はしていない、という医療機関がおられるのではと考えている。
委員	南区では相変わらず透析導入患者は減っていない。 定期的に紹介を受けるクリニックがいくつかあるが、FAX（紹介状）に則った紹介はほとんどない。
事務局	議事②CKD 対策推進会議について（資料 2） コロナ禍の影響でしばらく開催していなかったが、今年度は 4 年ぶりに年明けに開催予定。内容は、CKD 対策の取組み報告、講話、意見交換を予定。 講師は、CKD 対策に取り組む意義について、熊本市の取組みを熟知いただいているプロジェクトメンバーの先生にお願いしたい。

事務局	<p>講師選定を提案⇒全員承認</p> <p>議事③かかりつけ医説明会について（資料3）※A案とB案を検討 連携医の登録更新のための研修である。</p> <p>昨年は、連携協定を結んでいる製薬会社の協力で2回ずつ2会場で延べ4回実施した（A案）。</p> <p>A案のメリット：複数会場が用意可能。昨年度は市医師会館での参加者が最も多かったが、サテライトでの参加も一定数いた。</p> <p>A案のデメリット：資料の配布ができず、出席された先生方から不満の声を頂いた。また、声が聞き取りづらい、画面が見つらいとの意見もあった。</p> <p>B案は、従来どおり医師会館で2日間開催し、どちらか都合の良い方を受講いただく。連携医登録更新のためアーカイブ配信も行う。</p> <p>B案のメリット：都合が付かない先生向けにアーカイブ配信が可能。</p> <p>B案のデメリット：アーカイブ配信は生涯教育単位の対象外になる。</p> <p>昨年度はA案で実施したため、資料の配布ができず多くのご不満・ご意見をいただいた。それを踏まえ、事務局ではB案がよいのではと考えている。</p>
委員	<p>聴講する先生方からすれば、資料がないのは不満だと思う。</p>
事務局	<p>⇒B案で実施することを決定。</p> <p>また、今年度のかかりつけ医説明会の講師2名を決定。</p>
事務局	<p>病診連携システムで使用している紹介状の様式について、修正した方がよいのではという意見が出ているので検討いただきたい。</p> <p>①紹介基準に、「糖尿病がある場合、尿アルブミン定量30mg以上」を追加 ②処方欄にチェックボックスを追加</p> <p>実際に変更するのは、かかりつけ医説明会での説明後を予定。 結論として継続審議となる。</p>
事務局	<p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次健康くまもと21基本計画概要版 ・くまもと運動資源マップ <p>本日予定していた議題は以上。 今後も本市のCKD対策にご助言等含めよろしく願います。 (閉会)</p>